

提案企業（団体）名 株式会社村田製作所（京都府）

テーマ 福井県あわら市のスーパーシティ化に向けた取り組み

実施目的 村田製作所製品” Pifaa” をセンサプラットフォームとして活用することで、各ロケーションに対して同一のインフラでのデータ取得を実現する。

<実証の内容>

温泉や教育現場（こども園）に人流センサや二酸化炭素センサを設置して測定。



↓
混雑状況の可視化、予測による快適利用の促進やCO2濃度の可視化による換気状況のPR。

<今回の実証で実現したいこと>

施設内部環境（人流・二酸化炭素濃度）のデータを取得・分析し、リアルタイムに可視化することによって、複数エリアの環境の全体管理、環境の最適化を実現する。



” Pifaa” をセンサプラットフォームを基盤として、その他の公共インフラ等のプラットフォームと連携する。

連携先 あわら市

提案企業（団体）名 株式会社村田製作所（京都府）

テーマ 福井県あわら市のスーパーシティ化に向けた取り組み

Q. CO-FUKUIに応募したきっかけを教えてください。

弊社のグループ会社、(株)金津村田製作所の紹介で本事業を知りました。DXを推進することで「スマートふくい」の実現を目指すこのプロジェクトとセンサープラットフォームとしてスマートシティの実現を目指す弊社のPi faalは親和性が高いと考え応募いたしました。

Q. CO-FUKUIで実証実験を行ってよかった点を教えてください。

市町のご担当者が実証実験に協力いただける施設の方をご紹介くださり、スムーズに実証実験を始めることができました。また、利用者の方も市のご紹介ということで安心感をもって活動にご協力いただけていたのではないかと感じています。

Q. 本事業で何を実証したのか教えてください。また、その結果もあわせて教えてください。

今回の実証では、二酸化炭素濃度センサーを実証実験施設（温泉旅館・こども園）に設置、Webアプリケーションで環境情報を可視化し、可視化することによる感染予防・環境改善への有効性を実証しました。結果として有効性は実証され、「従業員の換気に対する意識づけに役立った」と評価いただけました。しかしアプリケーションを活用しきれていない例も多くあることが分かったため、今後口ーションに沿った活用方法の提案を予定しています。

Q. 今後、実証実験を行った事業をどのように展開していくのか教えてください。

今後は二酸化炭素濃度センサーによる感染予防対策だけではなく、人流センサーをはじめとした各種センサーを設置・データの一括管理を行い、2024年の新幹線開通に向けて観光業界の盛り上げをサポートする取り組みを展開していきたいです。

関係者のコメント



あわら市観光振興課
課長補佐 赤神様

このたび、村田製作所さんからお声掛けをいただき、「AIRSual」と「人流情報センサー」をあわら温泉街の旅館をはじめ、市内の公共施設やこども園に導入し、新型コロナウイルス感染リスク低減に向けた取り組みを実施してまいりました。

CO₂濃度を指標としてその数値をリアルタイムに見える化し、感染予防対策として重要とされている「換気」を適切に行うこの取り組みは、市民はもとより、宿泊観光地を抱えるあわら市にとって、観光客の皆さまに安全安心を提供し、「安全な観光地」であるというイメージアップ戦略にも大きく貢献しています。

この取り組みをさらに広げ、「あわらモデル」として全国に発信することで、感染症防止対策の普及啓発や市の知名度向上に繋がっていきたくと考えております。